

利用成果報告書

1 課題番号 R3-E33

2 報告者 鏑田武志 東京医科歯科大学・難治疾患研究所

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 B細胞の抑制性共受容体CD22の機能制御における糖鎖リガンドの役割の解明

5 使用装置名 FACSriaIII

6 利用期間 令和3年4月1日～令和4年4月31日

7 利用成果・実績の概要 CD22欠損マウスやCD22糖鎖リガンドの生合成に必須の酵素であるST6GalII欠損マウス、CD22のリガンド分子の一種であるCD45欠損マウスから脾臓B細胞を精製してカルシウム指示薬Indo-1で染色したのち、定常状態やB細胞抗原受容体架橋時の細胞内カルシウムレベルをフローサイトメトリーにて解析した。これらの解析により、CD22とその糖鎖リガンドが免疫不全B細胞の機能回復に寄与していることが明らかとなった。

8 社会・経済への波及効果 免疫不全B細胞が関与する疾患の新規治療法の開発や創薬につながると期待できる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
抑制性B細胞共受容体CD22 (Siglec-2)による糖鎖依存的な免疫不全B細胞の機能回復	赤津ちづる、Alborzian-Deh-Sheikh Amin、鏑田武志	第94回日本生化学会大会	2021年11月3日	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し